

# 辰馬御三家・見学会、勉強会

- 本辰馬(白鹿酒造)
- 南辰馬(白鹿酒造吸収合併)
- 北辰馬(白鷹酒造)

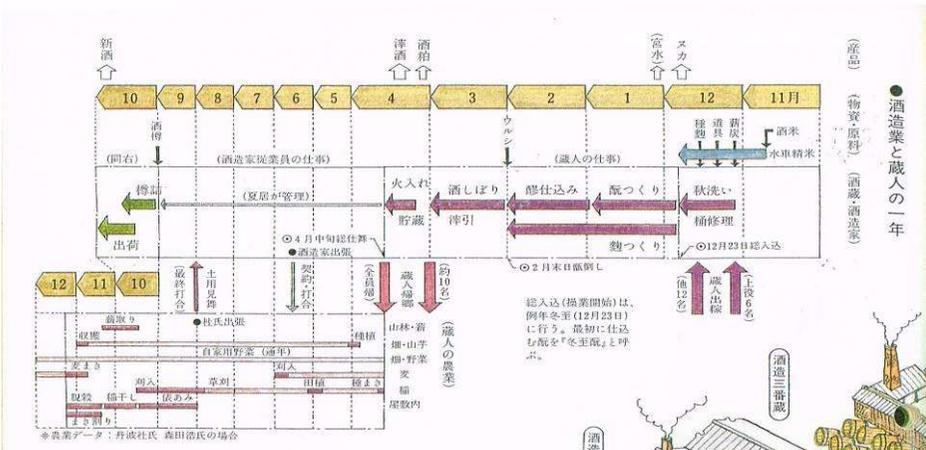


辰馬酒造の本家であり、灘五郷・千石蔵と呼ばれ、酒蔵復原の酒造館を見学する。  
(白鹿酒造)

喜十郎の名前で白鹿酒造で現在販売されているが、他の辰馬酒造に引けを取らない一族の酒造会社であったが経営不振に陥り平成半ばに本家辰馬に吸収合併された。立派な洋館の建造が足枷になったとも言われている。

白鷹酒造は、美味しい酒造り一番専念した酒造会社とも言える。酒の樽洗いと言われているが、酒造りの最終仕舞に使用した樽を酒で洗ったと言われているが、それほど酒造りに拘りを持っていた酒造会社であるが、戦争で殆どの酒蔵が焼けて、戦後の対応であったが、4代目寛生社長の思いは、旧白鷹酒造の酒蔵再現であった。

# 本辰馬(白鹿酒造)(1)



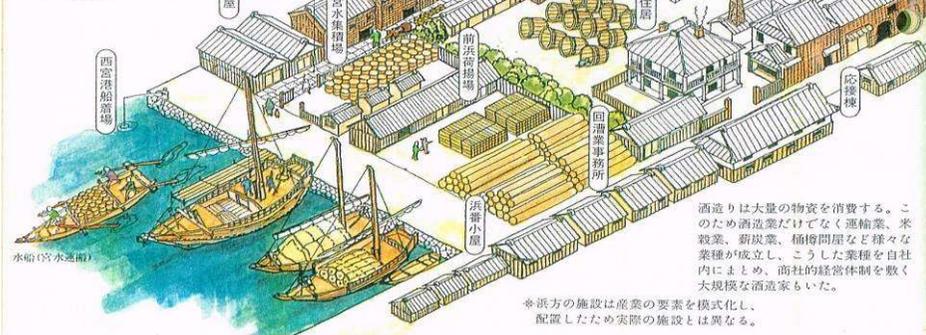
酒造都市の構造—西宮の場合—  
(町方と浜方)  
西宮は、西国街道の宿場として栄えていた「町方」エリアと、近世中期酒造業が導入してきた「浜方」エリアが、一体として発展した都市である。  
町方の都市空間構造は、西宮神社の門前町であるが、宿場機能だけでなく、酒造関連の諸職人の住居地でもあり、各種問屋やサービス業の店舗が並び、浜方の発展を支えている。



## 西宮の町と浜・酒造都市の構造模式

### 浜方エリア(酒造業地帯)

(空間構成)  
図は西宮の都市空間構造を模式化したものである。時代は、全国に販売展開した明治中期である。  
浜方は海辺から港、荷揚場、酒造蔵(酒造りの工場)、酒造家住居、周辺に樽桶などの関連工場がある。  
経営者にとって、工程管理に目が届く工夫された配置になっている。  
奥に行くに従い、町方の建物群となってゆく。  
都市住居の典型である借家群は、浜方町方に関係なく密集している。

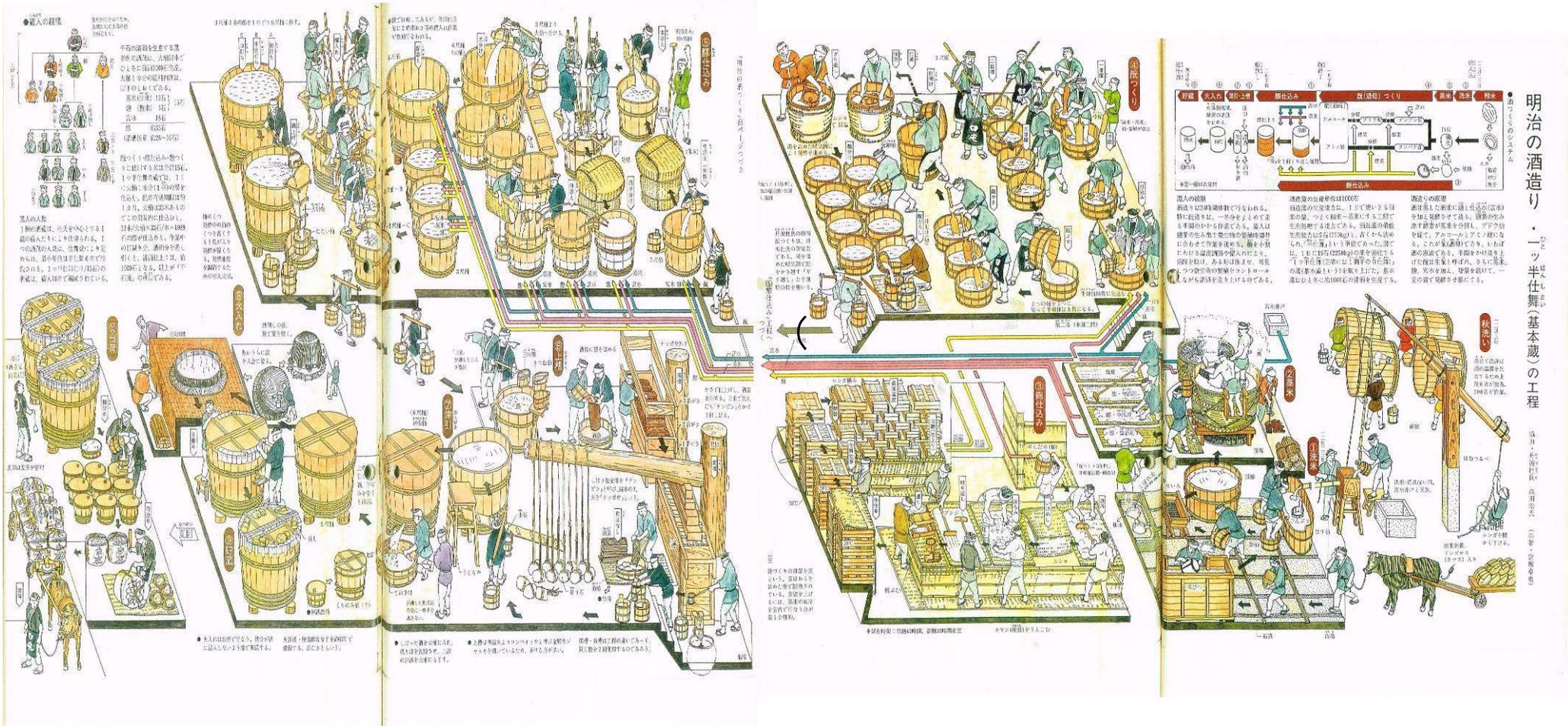


### 町方エリア(旧・西宮宿)

業種項目	記載業種名	軒数
● 酒造関係	酒造業及び関連業種	7
	酒造関係労働者	3
	酒造関係職人	16
● 販売業	衣類	59
	食品	8
	各種加工	8
	雑物雑貨他	35
	薬種	4
● 卸・仲買業	諸品仲買	1
	大工、差物、木挽、左官、塗師、畳屋、桶木屋、船大工、樽屋、櫻木屋、車大工、金物屋、火口、紺屋、綿打屋、縫物仕立、染物、銭屋、医業、按摩、髪結職、男髪結	28
● 労働・運輸業	日雇、駄賃付、馬引、牛馬博勞、飛脚下駄	10
	旅籠屋、飯盛旅籠屋、湯屋、質屋	40
● 施設	廻り方、呉當、夜當	3
	寶ふとん、手跡指南、寺社、不明	17
● 農業・漁業		90
● その他		17
合計	町方人口(1850)人 (75)業種	457軒
明治4年 町方人口合計 (無記分推定)	約4000人	
明治5年 浜方人口合計 (総合計一町方)	約5000人	
明治5年 西宮総人口	約9000人	

● 明治20年代、浜方には約44軒の酒造家が営業していた。

# 本辰馬(白鹿酒造)(2)



明治の酒造り・一つ半仕舞(基本蔵)の工程(模式 大林組)

水色 宮水(各所で使用されている)

# 宮水とは？

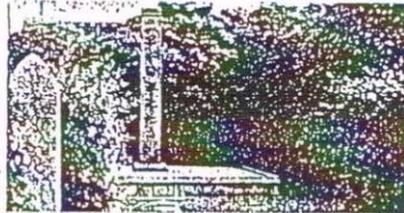
兵庫の自然を歩く一地理ガイド

## 宮水

※ 六甲山の伏流に  
深さ 3~5m の  
もの  
※ 本格的には  
宮水

最近の「うまい水」ブームで「六甲の水」が商品となっていますが、商品になった水としては西宮の「宮水」は特に有名です。

「灘の生一本」はこの水なしには語れません。醸造時にこの水を使うと、味の品質が上がり、いわゆる「秋晴れのする酒」になるそうです。1835年頃、宮水の効用が発見され、全国の酒の半分以上がこの水を使うため、西宮の港から樽づめの水が送られました。



下の表のように、硬度の高いことは酵母の働きを活発にする原因となります。Ca (カルシウム) Mg (マグネシウム) K (カリウム) P (リン) がそれにあたります。また、Fe (鉄) 分の少ないのは「秋晴れ」の原因になるのです。

区分	成分	pH	全硬度	Ca 硬度	Mg 硬度	K mg/l	P mg/l	Fe mg/l
宮水		7.0	9.5	7.5	2.0	18.5	2.0	0.003 以下
御影地水		6.9	5.7	5.1	0.6	7.9	0.2	0.007

宮水・地水 分析表 (「兵庫の自然」より)

宮水の滞水層は地下の4~5mで、6m以深になると水質はがらりと変わります。以前は、その上にあるトリガイの層からCaなどの成分が供給されたと考えられてきましたが、今では地下に鉱泉があると考えられるようになりました。しかし宮水の成因はいまだ「ナゾ」です。宮水は「西宮の水」が略されてできたものです。

※ 「兵庫の自然」(のじぎく文庫)、「宮水物語」(読売新聞阪神支局編)を参考にしました。

## 2.2 観測孔の設置

掘削終了後、図-2.2に示す仕様で観測孔を設置した。

観測孔に用いるパイプは、宮水帯水層と判断される深度の部分のみストレーナー(開口率 13%)加工した塩化ビニールパイプ (VP 75,内径 77mm) を設置した。パイプの底は閉塞し、底部分からの流入砂による観測井の埋設を防いだ。更に、ストレーナー部分には防虫網とステンレス網を巻き付け、周囲からの砂の流入を防止した。また、フィルター材として径 4mm 角の寒水石を充填した。

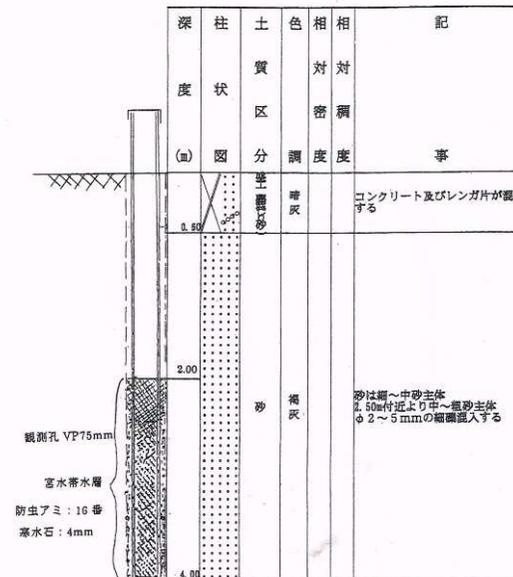


図-2.2 観測孔設置状況図

## 観測孔設置指導

スミカワ研究所  
理学博士  
済川 要

## 観測孔設置観測業者

基礎地盤コンサルタント  
(株)

# 南辰馬(喜十郎)(2)



古川氏撮影

03085

## 旧辰馬喜十郎住宅

分野：住宅

所在地：西宮市浜町8-5

設計者：山下某

構造：木造(柱は石製)・階数2

竣工年：明治21(1888)年

指定等：兵庫県指定重要有形文化財

この洋館にコストが掛り、経営難に陥ったとも言われて、現在は本家辰馬(白鹿)に合併されている。「喜十郎」のお酒が残されている

# 北辰馬(白鷹)(3)



白鷹 緑水苑  
・平成13年11月竣工  
・設計、施工 竹中工務店



現在の白鷹酒蔵(看板撤去)  
・昭和35年10月竣工  
・設計 清水栄二